

鳥取県営境港水産物地方卸売市場及び境漁港の委託業務に関する事業計画書

1 管理運営の基本的な考え方

(1) 管理運営の基本方針

鳥取県営境港水産物地方卸売市場（以下「境港市場」という。）の設置目的「卸売市場を整備し、生鮮水産物等の取引の適正化とその流通等の円滑化により、水産業の健全な発展と水産物の安定供給を図ることを目的とする」、及び境漁港の設置目的「漁業の根拠地となる施設を設置し、もって水産業の健全な発展及びこれによる水産物の供給の安定を図ることを目的とする」、以上の両設置目的を役職員一同十分に認識して、関係者との連携を図りながら設置目的を達成し得るよう管理運営に注力していく方針です。

今年度は受託期間5年の4年目になりますが将来を見据え役職員一同がこれまでの実績・経験・ノウハウを活かし、更に磨きをかけて管理運営に当たります。

関係者・部外者の行為行動面、安全面、衛生面、環境美化面、施設の機能面・利用面等、このような観点で活動を強化していきたいと考えます。

高度衛生管理型市場の整備はメインである2号上屋の建築が進行中です。1号上屋及び陸送上屋は本格的稼働となり新たな衛生管理ルールで運営されています。まだ問題・課題がある状況ですが、指定管理者として県と連携しながら対処していく考えです。

今後、市場整備の具体化が進展して行く中で、施設・設備の維持管理、外部委託の関係、衛生管理、経費管理等、指定管理全般に亘って影響が予想されます。適切な管理運営が図れるよう県との連携を密にしていきます。

(2) 法令等の遵守

施設を管理運営するに当たり、鳥取県条例、規則等の関係法令を遵守して参ります。

(3) 県との連携確保

鳥取県、主に鳥取県境港水産事務所（以下、水産事務所と言う。）との連携を強化し、施設管理運営について報告・連絡・相談を心掛け、また適切な指導を受けながら意思の疎通を図り、良好な管理運営が出来るよう努めます。

市場整備の工事スケジュール、進捗状況等の把握に努め、今まで通り情報交換、

意思疎通を図り連携に注力します。

関係者の声や施設管理者としての考え・要望等を伝え県との協議・意見交換を密に行っていきます。

鳥取県主催の研修会等に積極的に職員を派遣し、常にタイムリーな情報の入手に努め、職員全員が共通の行動規範のもと活動出来るよう努めます。

(4) 公平な利用の確保

境港市場は卸売業者、仲買人、漁業者等多くの関係者が利用しています。また、境漁港では地元船だけでなく県外船の利用もあります。管理区域においては様々な関係者が施設を利用していますが、その都度の利用状況をよく把握し関係者の御意見を伺いながら中立中正、公平公正を基本理念に対応していきます。

また、当社は関係者の中でも卸売業者3者の出資による法人であり、出資者に対しても同様の姿勢で平等な対応を図っていきます。

市場整備に伴い市場利用についての関係者間の立場、考えの違いも出て来ており、前述の基本理念を基に対応していきたいと考えます。

(5) 経費の効率化

鳥取県からの委託料を最大限有効に活用出来るような業務運営を心掛けていきます。外部委託では複数年契約の実施、見積り合わせによる競争原理の導入等に注力し経費の削減に努めていますが、今後も経費削減を図っていくべくきめ細かな経費管理に努めていきます。

修繕対応についても複数見積り徴求、業者との交渉強化等により経費削減を図ります。また、職員で対応できることは自ら実行していく考えです。然しながら、先ず経費削減ありきということではなく、関係者の声・要望をよく聞き、施設利用者に迷惑をかけないよう維持管理運営を積極的に注力していく方針です。

2 施設の設置目的に沿った業務の内容

(1) 市場条例及び漁港条例に基づき指定管理者が行う業務内容の理解と運用の考え方

条例、規則及び管理規程等に基づき、指定管理者としての業務範囲を理解して管理運営を行います。運用に疑義がある時は水産事務所と速やかに協議し、厳正な運用が出来るように努めます。

(2) 施設設備の維持管理の考え方

市場整備が進展し以前の市場施設のような老朽化に係る管理は減少している状況ですが、未だ古い施設もあり適切な管理を必要としていますので注意対応したいと考えます。

一方、新上屋、設備についてはその機能をよく理解し、問題事象発生に当たっては迅速かつ精緻な対応を図るべく職員一同努めてまいります。また、実際に利用して見て、維持管理して見て分かる課題、改善点もありますので、県とも意見交換しながら解決策に知恵を出していきたいと考えます。

案件の内容によっては県へ修繕等の対応を依頼しなければならない場合がありますが、県の考えも把握し必要性等の判断を行っていききたいと考えます。

軽微な案件については職員で対応を心掛けています。種々の事象発生については時系列的な把握に努め原因の早期発見に注力しています。

関係者の要望に配慮すると共に、職員一人一人が日常アンテナを高めて問題の早期把握・発見に努め、迅速な対応が出来る体制を構築していきます。

(3) 衛生管理の考え方

衛生管理について消費者、加工業者等の関心は年々高まり、厳しくなっています。様々な御意見も頂いています。その都度、関係者の方々へ注意喚起を行っていますが、先ず意識の面で関係者全員のモラル向上が必要と考えます。今後、高度衛生管理型市場を目指す中で、ソフト面では今からでも出来ることもあり、指定管理者として日々の巡視活動で指導を徹底すると共に、関係者との連携を強化した活動を展開したいと考えます。

陸送・1号上屋の高度衛生管理が始まって間もなく3年になりますが、この間を反省して見ると確かにハード面では整備がなされた状況にあります。一方、ソフト面で見ると必ずしも良好とは言えない状況です。意識レベルが高まったと感ずる場合もある反面、関係者が広く意識向上しているかと言うと物足りない面があります。今夏にはメインの2号上屋が完成し供用開始となりますが、この機会を一つのチャンスと捉え関係者との議論の場を県も交え設けたいと考えます。

市場利用協議会を活用しソフト対策に取り組み、関係者の知恵を結集して市場のレベルアップを図っていききたいと考えます。

新型コロナウイルス感染拡大が丸2年を経過し第6波の流行となっており、市

場関係者からの発症も出ていますが、市場で働く人々の健康問題でありその対策につき県とも連携しながら注意していきたいと考えます。

衛生管理は環境美化とも関連しますので、そういう目での施設管理にも注力しゴミ等廃棄物や投棄物の削減に向け関係者の協力を求めていきます。問題点については都度関係者へ注意喚起を発信していきます。

(4) 外部委託の考え方

委託業務のうち下記業務については仕様書に基づき専門の事業者へ外部委託します。また委託先の変更が生じる場合は技能・考え方等をよく聴取し、レベルダウンすることがないように注意対応します。

メインの2号上屋が加わり管理区域が大幅に増大します。適切な管理運営が図られるよう委託業者の選定及び委託業務の円滑な遂行に注意していきます。

(外部委託業務)

清掃業務、廃棄物・汚水処理業務、浄化槽維持管理業務、貯水槽維持管理業務、消防用設備点検業務・防火対象物定期点検業務、清浄海水供給施設保守点検業務、冷暖房設備保守点検業務、場内電灯設備保守点検、上屋シャッター保守点検、自家用電気工作物保守管理業務、ネズミ駆除業務、みさき会館管理運営業務、境漁港緑地管理業務、除雪業務、境漁港臨港道路管理パトロール業務、流動海水氷供給施設保守管理業務、氷販売機保守管理業務、次亜塩素酸装置保守管理、コロナ関連衛生管理業務、活魚水槽保守管理業務、冷蔵庫保守管理業務、電動フォークリフト点検業務、修繕業務、魚体選別機点検業務。

3 事故・事件の防止措置と緊急時の対応等

(1) 火災・盗難・災害などの事故・事件の防止（防災）対策

災害・防災対応マニュアルに基づき、災害の発生・防災対策において役職員の役割分担を明確にし、市場関係者・来場者等の安全を最優先に考え対応します。

予見の可能性という問題意識を常に持ち、施設の不備や利用の不備に起因する事故・盗難等が発生しないよう日常巡視活動において不備の早期発見に努め、事前予防等の管理を徹底します。

特に安全上問題となる事案については、逐次水産事務所へ報告書を提出し、対策面も含め県との連携に注力していく方針です。

(2) 緊急時の体制・対応

下記連絡体制を役職員に徹底し、常に機敏な対応ができる体制を構築致します。特に水産事務所とは連絡を密にしていきます。

連絡体制表は別紙のとおり。

(3) 利用者の苦情等トラブルの未然防止と対処方法

寄せられた苦情に対しては適切に対応し、速やかに県へ報告します。問題点を把握し今後の活動へ活かせるよう組織内で徹底すると共に、関係先への協力要請も行って参ります。

日常の業務運営において公平公正な態度で臨みトラブルの防止に努めます。また、施設設備面で苦情・トラブルが発生しないよう日頃の管理を徹底します。

4 個人情報保護等への対応

(1) 個人情報の保護への対応

協定書における個人情報取扱特記事項を役職員全員に徹底し、情報の漏えい・滅失等がないよう管理指導いたします。

鳥取県個人情報保護条例第 11 条の「委託等に伴う措置等」を遵守し、鳥取県告示の「事業者が個人情報を取り扱う際に準拠すべき指針」を基準として、個人情報の適正な取扱いを致します。

(2) 情報の公開への対応

鳥取県情報公開条例を遵守し、指定管理者が管理する公の施設の管理に係るものについては、公開に努めます。

5 施設利用の要望の把握、利用促進の考え方

日常の活動において、役職員全員がアンテナを高くし、関係者とのコミュニケーションを図り要望の把握に努めます。管理者にて対応できることは迅速な対応を心掛けます。また、その中で県と協議すべき事は県へ報告し相談のうえ対応します。

6 組織及び職員の配置

別紙のとおり。

7 境漁港における臨港道路管理パトロール計画

県のパトロール実施要領に基づき、臨港道路及び臨港道路の利用状況について点検に努め、適正な維持管理を図っていきます。問題点・課題等については適宜県へ報告し、連携に努め適切な対応を図るよう努めます。

8 その他の計画等

(1) 社会科見学等の対応

今年度も引き続き、水産事務所、水産振興協会と連携し見学者対応に協力して参ります。今までの経験を踏まえより充実した内容となるよう努め、境港市場の情報発信を図っていきたいと考えます。

市場整備工事が各所で実施されており、案内対応については一定の制限も考慮に入れながら最善の対応が図られるように努めます。

(2) その他見学・視察対応

年々市場への来場者は増加して来ており、水産事務所・水産振興協会と連携しながら対応していきます。今年度も引き続き社会科教育の一助となるよう、また境港市場の認知度アップに向け親切的な対応をしていきます。

市場関係者へは事前に来場者の案内を通知し、安全面及び衛生面等への配慮をお願いしていきます。

マグロ、カニ等で境港市場の注目が高まっている中、マスコミ、外部関係者等の来場も増大している状況ですが、少しでも好印象を持って頂くよう丁寧な対応を心掛け、環境美化にも配慮し境港市場のアピールに貢献していきます。

尚、現在流行している新型コロナウイルスの問題が発生しており、県の施策のもと適切な対応を図ります。

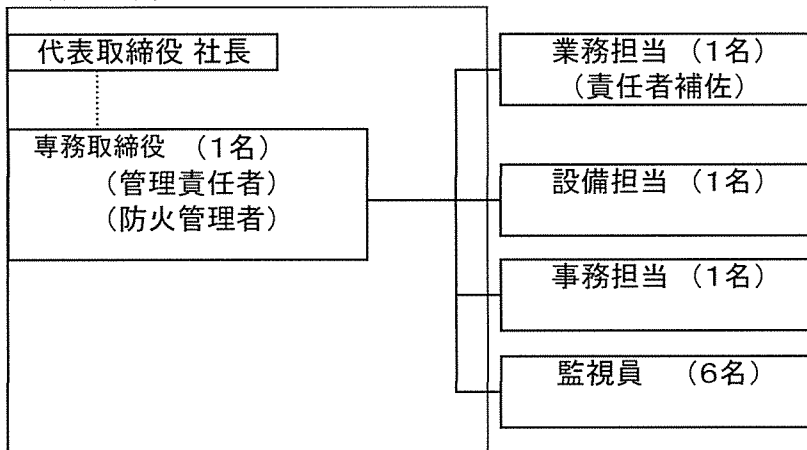
管理体制

管理運営の組織

境港水産物市場管理 株式会社 組織図

代表取締役社長(非常勤)	境港魚市場株式会社 代表取締役会長
代表取締役 (非常勤)	漁業協同組合JFLまね 代表理事会長
代表取締役 (非常勤)	鳥取県漁業協同組合境港支所 販売統括部長
専務取締役 (常勤)	当社専従
取締役 (非常勤)	鳥取県漁業協同組合 代表理事組合長
取締役 (非常勤)	漁業協同組合JFLまね 専務理事
取締役 (非常勤)	境港魚市場株式会社 代表取締役社長
監査役 (非常勤)	境港魚市場株式会社 常務取締役総務部長
監査役 (非常勤)	漁業協同組合JFLまね 境港支所常務理事
監査役 (非常勤)	鳥取県漁業協同組合境港支所 総務課

《管理運営スタッフ》



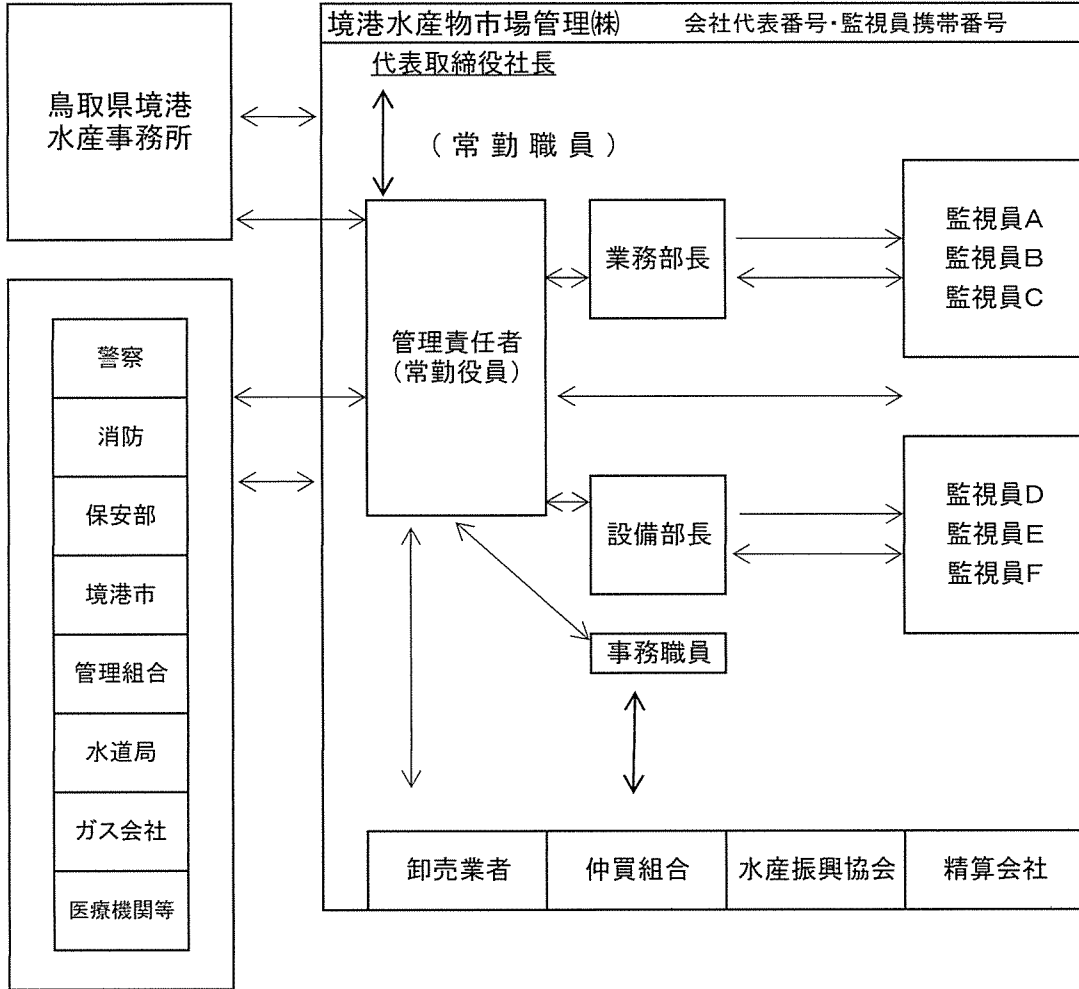
役職員の職種・雇用等

職種 (職名)	雇用関係	月勤務日数	担当業務	資格等
管理責任者	常勤	26日	統括	防火管理者
業務部長	常勤	21日	補佐職、衛生、廃棄物、利用許可等	
設備部長	常勤	21日	電気・機械設備保守管理等	
事務主任	常勤	21日	会計、庶務、その他	
監視員6名	非常勤	月20回	巡視業務	
計	10名			

日常の職員配置

配置場所	職員配置の時間帯	職名		
管理事務室	8:00~17:00	管理責任者	設備部長	事務主任
管理事務室	8:00~17:00	業務部長		
1号詰所	5:00~15:00	監視員	平日の体制	
7号詰所	5:00~15:00	監視員	平日の体制	
事務室・詰所	5:00~15:00	監視員	平日の体制	
1号残部詰所	17:00~7:30	監視員	夜勤の体制	
1号残部詰所	7:30~17:00	監視員	土曜日、休日、休場日の体制	

緊急時の連絡体制



令和4年度 鳥取県境港水産物地方卸売市場の委託業務に関する収支計画書

法人等の名称 (境港水産物市場管理 (株))

(単位:千円、税込)

区 分		内 訳	金 額	
収入項目	県からの委託料(市場)	180,461	180,461	
	県からの委託料(魚体選別機)	1,714	1,714	
収入合計(A)		182,175	182,175	
支出項目	人件費(常勤職員)	24,000	24,000	
	人件費(非常勤職員)	14,700	14,700	
	消耗品費	1,600	1,600	
	燃料費	400	400	
	光熱水費	25,000	25,000	
	修繕費(市場)	7,000	7,000	
	通信運搬費	450	450	
			72,393	
	委 託 料	▪清掃費	40,000	40,000
		▪施設設備保守管理	25,324	25,324
		浄化槽	610	
		電気工作物	2,666	
		空調	570	
		消防用設備	604	
		清浄海水供給施設	3,200	
		流動海水氷保守管理	6,543	
		氷販売機保守管理	728	
		活魚水槽保守管理	1,302	
		冷蔵庫保守管理	531	
		電動リフト保守管理	101	
廃棄物処分		1,400		
▪みさき会館管理	1,850	1,850		
▪ネズミ駆除	370	370		
▪公害防止施設	4,849	4,849		
使用料及び賃借料	10,000	10,000		
負担金(公社)	20,640	20,640		
負担金(振興協会)	1,834	1,834		
その他経費	4,158	4,158		
支出合計(B)		182,175	182,175	
差額(A)-(B)		0	0	

令和4年度 境漁港の委託業務に関する収支計画書

法人等の名称（ 境港水産物市場管理(株) ）

(単位:千円、税込)

区 分		内 訳	金 額	
収 入 項 目	県からの委託料		7,273	
収 入 合 計 (A)		7,273	7,273	
支 出 項 目	旅費		52	
	消耗品費		400	
	光熱水費		700	
	修繕費		4,000	
	役務費		10	
	委 託 料	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 一般廃棄物収集運搬 70 ▪ 清掃委託 540 ▪ 緑地管理委託 280 ▪ 除雪委託 700 ▪ 電気工作物等保守委託 420 		2,010
		その他経費		101
支 出 合 計 (B)		7,273	7,273	
差 額 (A)-(B)		0	0	